

ちる。迷いながらの走りでは、後続の必死の相手を振り切る事などできはしないのだ。

板川の逡巡の隙を縫つて、滝沢が食い仕掛けを入れた。タンヤオのみではあつたが、親の滝沢は連莊さえすれば

板川に追い着く可能性があるだけに、点数の多寡はここでは問題ではない。

ダマ聴を維持し続けるかに思えた数巡

後、板川はツモって計な迷いを捨てて、ただひたすらに足を動かし、ゴールを目指す。

もう、迷わない。

そういう決意を示すかのように。

勝つためには、つまるところ、走り続けるしかないのだ。余計な迷いを捨てて、ただひたすらに足を動かし、ゴールを目指す。板川のリーチは惜しくもかわされ、滝沢に1000オールの和了りを許したが、その後の板川に迷いはなかつた。

オーラス ドラ	
オーラス 板川、役なしでテンパーが2巡ダメ、その後意を決するかのよう [リーチするも滝沢ツモアガリ]	
滝沢(25500)	
配牌	
ツモ	一島 二島 三島 四島 五島 六島 七島 八島 九島 西 茶
捨牌	一島 二島 三島 四島 五島 六島 七島 八島 九島 茶
最終形	一島 二島 三島 四島 五島 六島 七島 八島 九島 茶
板川(46800)	
配牌	一島 二島 三島 四島 五島 六島 七島 八島 九島 茶
ツモ	一島 二島 三島 四島 五島 六島 七島 八島 九島 茶
捨牌	一島 二島 三島 四島 五島 六島 七島 八島 九島 茶
最終形	一島 二島 三島 四島 五島 六島 七島 八島 九島 茶



オーラス3本場 ドラ	
板川がピンズのリヤンメンを期待せずに 中ポンまでドラの 茶 を絞ったのが見事。滝沢は逆転手が入るもテンパイできず流局。板川が第21期最強位に決定した。ちなみに滝沢がテンパイする牌で山に残っていたのは 1 だけ、だがそれが入っても板川に放銃になるという、将棋でいうツミの状態になっていた。	
滝沢(33000)	
配牌	一島 二島 三島 四島 五島 六島 七島 八島 九島 茶
ツモ	一島 二島 三島 四島 五島 六島 七島 八島 九島 茶
捨牌	一島 二島 三島 四島 五島 六島 七島 八島 九島 茶
最終形	一島 二島 三島 四島 五島 六島 七島 八島 九島 茶
板川(45300)	
配牌	一島 二島 三島 四島 五島 六島 七島 八島 九島 茶
ツモ	一島 二島 三島 四島 五島 六島 七島 八島 九島 茶
捨牌	一島 二島 三島 四島 五島 六島 七島 八島 九島 茶
最終形	一島 二島 三島 四島 五島 六島 七島 八島 九島 茶



しかし観戦者達は、最後まで中継のモニターを食い入るように見つめていた。陸上競技の結果を見守る観衆のように。

トランクで走る事を失った1人の青年は、今、確実に麻雀界の中でその走りを続けている――。

だがオーラス3本場、12000の出和了りで優勝というところまで板川を追い詰めた滝沢だったが聴牌を入れる事ができず、流局という形で勝負は決した。

ともすれば、流局による勝負の終結は地味な印象を人に与えるかもしれない。



優勝後のインタビューでようやく安堵の表情の板川

